よくある問い合わせ

（2025年4月16日現在）

No	カテゴリ	質問	回答
1	拡充する機能	「ホームページの開設・運営サービス」を利用している会員数はどれくらいですか。	2025年3月現在313会員にご利用いただいております。
2		PC端末に加え、スマホやタブレットにも対応したレイアウト表示機能を追加するとありますが、コンテンツに違いはありますか？	PC端末とスマホやタブレットで表示するコンテンツに変更はございません。 スマホやタブレットは、見やすさを考慮してレイアウト表示の変更を検討しております。
3		災害時掲示板に伝言を掲載して、受給者等が閲覧する流れはどうなりますか。	会員の担当者がPC端末、スマホやタブレットより「災害時伝言板」へログインし、担当者自身が伝言を登録することで、ホームページにアクセスする利用者が伝言を閲覧できるようにする予定でおります。
4		「ウェブアクセシビリティ」は、具体的にどのような対応を実施しますか。	利用者の障害などの有無やその度合い、年齢や利用環境にかかわらず、あらゆる人々がウェブサイトで提供されている情報やサービスを利用できるようにするため、文字の色と背景色とのコントラストの確保や音声読み上げソフトへの対応など、総務省が開発する評価ツール（miChecker）を使用し、ウェブアクセシビリティに対応したサイト構築を実施する予定でおります。
5	機能拡充後の環境	機能拡充を実施前の「現外部サーバ」は、どのようなものですか。	現在の会員ホームページが稼働するサーバのことで、外部委託業者のクラウドサービスを利用しております。
6		機能拡充後に利用する「クラウド共通基盤」は、どうのような基盤ですか。	クラウド共通基盤は、企業年金ネットワークや企業年金プラットフォームの他、連合会の業務システムを稼働するクラウド基盤になります。クラウド共通基盤の業務システムを構成する共通機能を共有することで、短納期かつ低コストによるシステム開発が可能となり、開発・運用の標準化やコストの最適化を実現しております。
7		機能拡充後の「セキュリティレベル」は、どうのようになりますか。	セキュリティレベルは「政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準群」に準拠したセキュリティレベルを維持します。クラウド共通基盤を利用する連合会の業務システムは統一したセキュリティ対策レベルを確保しております。 「政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準群」 https://www.nisc.go.jp/policy/group/general/kijun.html
8		「利用者の利便性向上」とありますが、具体的にどのように利便性が向上するのですか。	連合会クラウド共通基盤の共通認証機能により、複数のシステムで統一した認証を利用することができ、例えば同じパスワードを共通して使用できるシングルサインオンなど、認証操作における利便性の向上を図る予定としております。
9		「システム管理の効率化」とは、具体的にどのように効率化されるのですか。	連合会クラウド共通基盤を利用することにより、運用管理機能が標準化されて、標準化したシステム管理が可能となり、低コストで効率的に運用作業を実行することができます。
10	費用	機能拡充に係わる費用は、ページ数や機能に関わらず、追加の費用は発生しないのですか。	機能拡充にあたって、ページ数や機能に関わらず、追加の初期費用やランニング費用は発生しません。
11	スケジュール	機能拡充のスケジュールは、どのようになりますか。	機能拡充は会員毎に順次開始し、2027年3月までにすべての会員の拡充を完了する予定です。 現在スケジュールは検討中であり、2025年9月までにご連絡します。